

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
陸上無線通信委員会 基幹系無線システム作業班（第6回）議事要旨（案）

## 1 日時

平成 26 年 8 月 26 日（火）14：00～14：40

## 2 場所

総務省 第 4 特別会議室

## 3 出席者（敬称略）

主 任 唐沢 好男

構 成 員 飯塚 正孝、伊藤 泰成、井野 年勝、植田 和典、  
【代理】立野 哲也、岡田 良教、小山 祐一、笥 雅光、  
笠松 章史、佐藤 英樹、鈴木 健児、渡来 祐一、橋本 昌史、  
拮石 康博、【代理】根本 俊一、藤井 康之、松田 和敏、  
村上 信高、

オブザーバー 坂倉 彰

事務局（総務省） 寺沢基幹通信課長、中越課長補佐、臼井課長補佐、黒田係長、  
結城官、中山官

## 4 配付資料

基幹班 6-1 基幹系無線システム作業班（第5回）議事録（案）

基幹班 6-2 提案募集の結果について

基幹班 6-2-1 KDDI 株式会社提案

基幹班 6-3 6.5/7.5GHz 帯可搬型システム等に関する H25 年度検討状況ご報告および  
運用条件検討のご提案

参考資料 1 基幹系無線システム作業班 構成員名簿

## 5 議事概要

- (1) 基幹系無線システム作業班（第5回）議事録（案）について  
事務局から資料基幹班 6-1 に基づき説明が行われ了承された。
- (2) 提案募集の結果について  
事務局から資料基幹班 6-2 に基づき 2 者からの提案があった旨、説明が行われた。  
提案を行った者のうち KDDI 株式会社より、資料基幹班 6-2-1 に基づき提案内容に  
ついての説明が行われた。

○唐沢主任

資料 P 2 のその他で、6 GHz 帯の電気通信業務用固定局について提案があるが、作業班の場で検討を行ってもよいのか。

○事務局

今般の 6.5GHz 帯又は 7.5GHz 帯の周波数の電波を使用する固定局の検討と併せて検討することが適当との合意が得られるのであれば、作業班の場で検討を行い、委員会にお諮りしたいと考えている。

(3) 可搬型システム等の導入についての報告

日本電気株式会社から、平成 25 年度に技術試験事務において検討を行った 6.5/7.5GHz 帯可搬型システム等に関する検討状況の報告及び運用条件検討の提案として資料基幹班 6-3 に基づき説明が行われた。

○村上構成員

検討を行う陸上移動局については、免許を行う上で既存の無線局との共用が必要であることから、優先順位を明確化した上で、陸上移動局の運用のルールを定め、干渉が起こらないようにしていただきたい。

○唐沢主任

固定局で使用されている周波数帯に陸上移動局を導入するためには、干渉が起きないように制度化を行っていく必要があると考えられる。

○鈴木構成員

陸上移動局として運用する場合には、移動する範囲が定められることになるのか。

○事務局

固定的に使う陸上移動局として FWA システムがあるが、周波数有効利用の観点から移動範囲について限定をかけて免許している。今般の検討においても、移動範囲の考え方についてアドホックの場で検討を行っていく予定である。また、資料 P 3 の回線品質の考え方については、案 1、案 2 ともに検討を行いたいと考えている。

○唐沢主任

資料 P 5 の提案は、陸上移動局による免許を行う無線設備として屋外型装置だけではなく従来型装置も対象とすることが望ましい、との提案と考えてよいのか。

○坂倉氏

お見込みのとおりである。

その他

事務局より、次回開催の日程については、アドホックでの議論を踏まえて、確定したい旨説明が行われた。

以上